

PRIMEQUEST上で高性能・高信頼なOSIV/XSP環境やオープン連携環境を実現するOSIV/XSPのソフトウェア製品群をパッケージ化してご提供します。

基本パッケージ

- OSIV/XSP GSS21i/PRIMEQUEST Standard Edition V30
 - 高性能・高信頼なグローバルサーバの基盤機能、リレショナルデータベース、インターネット業務構築基盤、Windowsクライアント連携機能、イメージデータソリューション基盤に加え、オープンシステムからのグローバルサーバ資産活用機能や、仮想マシン機能を標準装備しています。
- OSIV/XSP GSS21i/PRIMEQUEST Advanced Edition V30
 - Standard Editionの機能を包含したうえ、ジョブの実行多重度や同時展開可能なVSAMファイル数などのスケーラビリティ拡大に必要な機能を加えてご提供します。

上位パッケージ

- OSIV/XSP GSS21i マルチサーバデータ連携パック
 - マルチプラットフォーム対応の高信頼なファイル転送、多様なデータベースからのデータ抽出・格納、データ集配後の業務スケジューリングなどの機能をご提供します。
- OSIV/XSP GSS21i ストレージ管理パック
 - ファイルの容量、割り当て・解放の自動管理や、バックアップ・リカバリ運用の条件設定など、システム運用の省力化に有効な統合ストレージ管理機能を提供します。



OSIV/XSP動作機構のシステム仕様

モデル/名称	PRIMEQUEST 1400S				PRIMEQUEST 1400E/1800E										
モデル名	モデル5	モデル7	モデル10	モデル15	モデル20	モデル5	モデル7	モデル10	モデル15	モデル20	モデル30	モデル40	モデル50	モデル60	モデル80
システムボード数	1枚				1枚										
CPU種	インテル® Xeon® プロセッサ X7560 [2.26GHz] (8コア, 3次キャッシュ: 24MB, QPI: 6.4GT/s)				インテル® Xeon® プロセッサ X7560 [2.26GHz] (8コア, 3次キャッシュ: 24MB, QPI: 6.4GT/s)										
実装CPU数	1CPU (8コア)		2CPU (16コア)		1CPU (8コア)		2CPU (16コア)								
OSIV/XSP使用CPUコア数*1	1コア				1コア		2コア								
実装メモリ容量	8GB		16GB		8GB		16GB								
OSIV/XSP使用メモリ容量*1	2GB				2GB										
キット搭載個数 (XSPパーティション数)	最大2個 (最大2パーティション)				PRIMEQUEST 1400E: 最大2個 (最大2パーティション) PRIMEQUEST 1800E: 最大4個 (最大4パーティション)										
拡張バススロット (PCIボックス接続時)	最大20スロット				最大40スロット										
I/Oインターフェース (PRIMEQUEST 1筐体あたり)	BMCチャンネル数				最大17チャンネル (PCIカード数: 最大17枚)										
	OCLINKチャンネル数				最大40チャンネル (PCIカード数: 最大20枚)										
	LANポート (仮想ONAポート) 数*2				最大8ポート (PCIカード数: 最大4枚)										
グローバルサーバ専用ディスク装置 (ETERNUS DX80) (1XSPパーティションあたり)	最大1台 (30GB/60GB/90GB/120GB)				-										
AVM/EXS適用時のVM数 (1XSPパーティションあたり)	最大4VM				最大4VM										

*1: 実装CPUコア数/実装メモリ容量との差分は、OSIV/XSP動作機構が使用。
*2: I/Oユニット上のオンボードLANを含みます。

モデル/名称	PRIMEQUEST 1400S	PRIMEQUEST 1400E	PRIMEQUEST 1800E
基本筐体 外形寸法 [幅×奥行×高さ] (ユニット数)	482×800×308mm (7U)	482×800×530mm (12U)	
基本筐体 質量*1	最大95kg	最大130kg	最大150kg
入力電圧 (周波数)	AC200~240V ±10%, AC100~120V ±10% (50/60Hz +2/-4%)	AC200~240V ±10% (50/60Hz +2/-4%)	
消費電力/皮相電力	最大2,070W/2,180VA	最大2,480W/2,610VA	最大4,000W/4,210VA
発熱量	最大7,452 kJ/h	最大8,928 kJ/h	最大14,400 kJ/h
省エネ法に基づくエネルギー消費効率*2 (2011年度基準)	(L区分) X7560 [2.26GHz]: 2.9 / E7520 [1.86GHz]: 6.9	(L区分) X7560 [2.26GHz]: 3.3 / E7520 [1.86GHz]: 8.0	(L区分) X7560 [2.26GHz]: 3.0 / E7540 [2.00GHz]: 4.6
冗長コンポーネント	電源ユニット、冷却ファン*3、メモリ*3、内蔵ディスク*3、PCI Expressカード*3、サーバ管理専用ユニット*3		
使用環境	温度5~35℃、湿度20~80% (結露しないこと)		
保守期間	標準5年		

*1: ラック搭載レール、およびコード類は含まれません。
*2: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能 (単位: キガ演算) で除したものです。
*3: オプション追加により冗長可。

環境への取り組み

「スーパーグリーン製品」の提供

当社の厳しい環境評価基準 (省資源化、リサイクル設計、化学物質含有/使用規制、省エネルギー、環境情報の提供など) をクリアした地球に優しい、環境への負荷の少ない「グリーン製品」として提供しています。PRIMEQUEST 1000シリーズでは、さらに省資源化、省エネルギー等の環境配慮レベルが極めて優れている「スーパーグリーン製品」として提供しています。



マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ (PDF) で提供しています。

* Intel, インテル, Intel ロゴ, Xeon, Intel Insideは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
* Microsoft, Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
* 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMEQUESTを廃棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳細につきましては、「インターネット情報ページ」 (<http://primeserver.fujitsu.com/news/2003/0909.html>) をご覧ください。

クラス1レーザ製品 PRIMEQUEST 1000シリーズは、クラス1レーザを使用しています。



■ このカタログに掲載されている内容については、改善などのため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
■ このカタログは、FSC® 森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

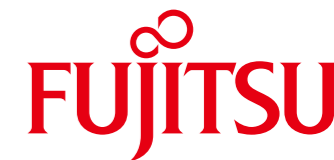
0120-933-200

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://primeserver.fujitsu.com/primequest/>

CE1155-2011年3月版



FUJITSU OSIV/XSP 動作機構 基幹IAサーバ PRIMEQUEST



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

信頼性・可用性を備え、お客様のメインフレーム資産を確実に継承する 基幹IAサーバ「PRIMEQUEST」

メインフレームクラスの信頼性・可用性を備えた基幹IAサーバ「PRIMEQUEST 1000シリーズ」

PRIMEQUEST 1000シリーズは、Intel® Xeon® プロセッサ 7500番をはじめ、Linux®、Windows Server®といった業界標準のオープン・アーキテクチャーをベースに、富士通がメインフレームで培ったノウハウ、テクノロジーを結集したオープン・ミッションクリティカルサーバです。

業務停止の極少化

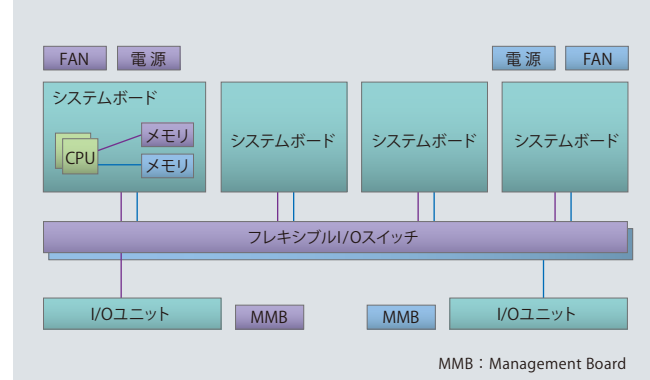
PRIMEQUEST 1000シリーズは、プリント板の種類を従来モデルの30種から14種に削減するとともに、総部品点数を約20%削減。厳しい部品スクリーニング(選別)や組み立て後の製品検査との相乗効果により、装置自体の高品質・高信頼性を確保しています。

さらに、メモリのミラーリングに加え、電源ユニット、冷却ファン、サーバ管理専用ユニット(MMB)などの内部コンポーネントを徹底的に冗長化した高可用テクノロジーの適用により、ハードウェアレベルで高い連続運転性を実現しました。

また、サーバを停止することなく故障箇所を修理・交換できる活性保守機能もサポートしています。

オープンサーバの概念を超えるメインフレームクラスの信頼性を提供し、お客様ビジネスの継続性を守ります。

●メモリミラーリング、内部コンポーネントの冗長化

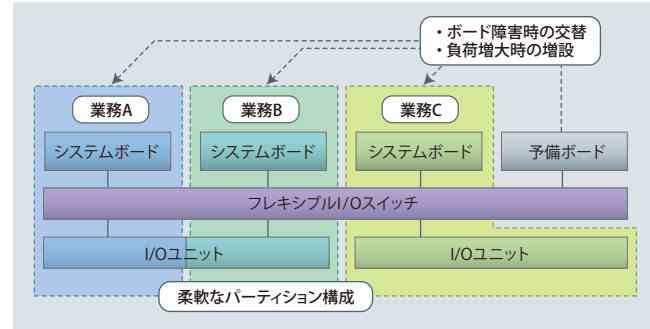


業務停止時の迅速な復旧

CPUやメモリを搭載するシステムボードと、PCIカードや外部インターフェースを搭載するI/Oユニットとの自由な組み合わせを実現する機能「フレキシブルI/O」。サーバ内に予備のシステムボードを搭載しておくことで、万が一運用中のシステムボード自体に障害が発生した場合でも、当該の業務システム(パーティション)は、自動で予備ボードへ交替。OSリブートとアプリケーション動作確認のみの短時間で業務サービスを復旧できます。

本機能は、お客様の求める信頼性要件によっては、設計・構築・運用が比較的複雑で高コストとされているクラスシステムからの代替手段としても有効です。

●フレキシブルI/O、予備システムボード、パーティション機能



基幹IAサーバ「PRIMEQUEST 1000シリーズ」上でグローバルサーバ資産を継承

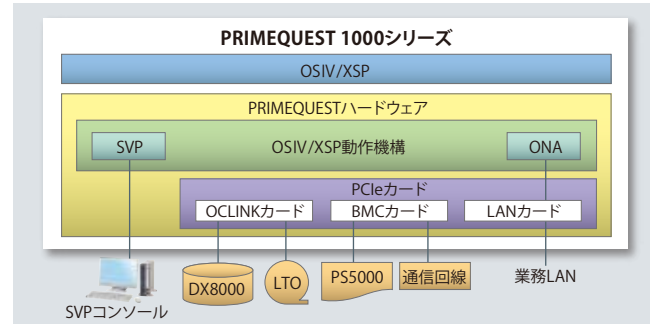
PRIMEQUEST 1000シリーズでは、OSIV/XSP動作機構の搭載により、「GS8000シリーズ」や「GS21シリーズ」、「PRIMEFORCE(プライムフォース)」などの富士通グローバルサーバの専用OSである「OSIV/XSP」と、同OSに対応した「AIM」などの各種ソフトウェアやアプリケーションがそのまま稼働します。

OSIV/XSP動作機構

PRIMEQUEST上でOSIV/XSPシステムを稼働させる際に必要なハードウェア機構です。現行システムの各種プログラムを変更することなく、そのまま実行できます。

OSIV/XSP動作機構は、グローバルサーバの性能に応じたラインナップを用意しており、OSIV/XSPシステムが占有するシステムボード、CPU、メモリ、ディスクなどのハードウェアをセット化し、「OSIV/XSP動作機構キット」としてご提供します。PRIMEQUEST 1400S、同1400E、同1800Eに搭載できます。

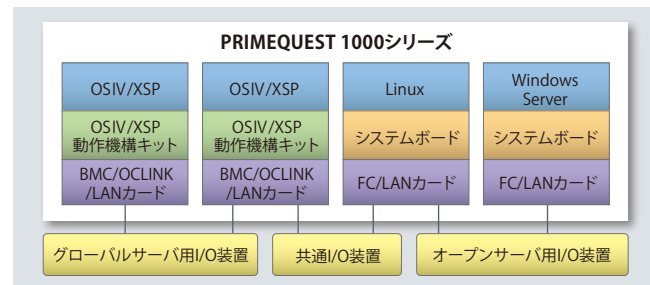
●OSIV/XSP動作機構の役割



システムボードによるパーティション機能を活用し、PRIMEQUEST上でOSIV/XSPシステムとオープンシステム(Linux®/Windows Server®)を並行稼働させながら、お客様がこれまでに培ってきたOSIV/XSPベースの基幹アプリケーションや資産を、安全・確実に、低コストで継承することができます。

また、システムのオープン化に伴い、PRIMEQUEST上のOSIV/XSP資産が無くなった後は、OSIV/XSPシステムを稼働させていたCPUやメモリをオープンシステム向けに転用できるため、投資の最適化を図ることができます。

●OSIV/XSPシステムとオープンシステムの並行稼働



「OSIV/XSP動作機構」のラインナップ

移行元のグローバルサーバのモデル(処理能力)や台数に応じて、多様な移行パターンをご提供します。

PRIMEQUEST 1400S OSIV/XSP動作機構キット

性能別に5種類(性能カパーレンジ4倍)の「OSIV/XSP動作機構キット」をラインナップしております。

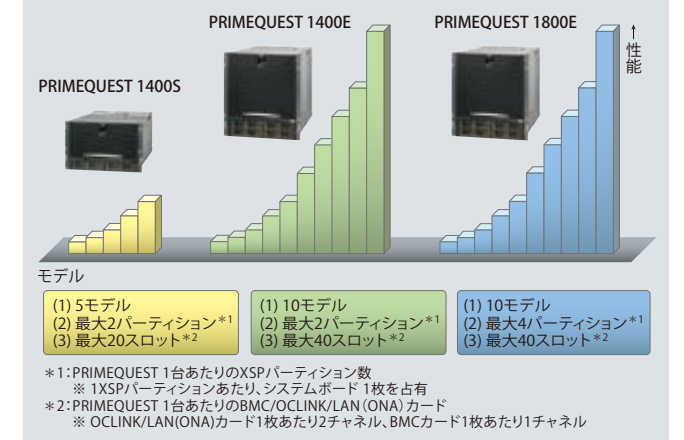
最大2パーティションまで構築できるPRIMEQUEST 1400Sでは、例えばOSIV/XSPシステム(1台のグローバルサーバ)とオープンシステムを、PRIMEQUEST 1台に集約・統合できます。

PRIMEQUEST 1400E/1800E OSIV/XSP動作機構キット

性能別に10種類(性能カパーレンジ16倍)の「OSIV/XSP動作機構キット」をラインナップしております。

同キットを複数個導入し、複数のOSIV/XSPシステム(複数台のグローバルサーバ)をPRIMEQUEST 1台に集約・統合する場合や、多数のオープンシステムとともにOSIV/XSPシステムをPRIMEQUEST 1台に集約・統合する場合などに適しています。

●「OSIV/XSP動作機構」のラインナップ



グローバルサーバと同等の運用性

グローバルサーバシステムの高度な運用形態を、PRIMEQUEST上のOSIV/XSPシステムでも継続できます。

AVM/EXS

1台のグローバルサーバを最大4台の仮想マシン (VM) に分割し、それぞれのVMでOSIV/XSPシステムを構築・運用するためのソフトウェアです。

最大4つのOSIV/XSPシステムを構築した1台のグローバルサーバから、PRIMEQUEST上のXSPパーティションへ移行できます。

Cタイプ動作機構オプション

グローバルサーバの内蔵磁気ディスク装置搭載モデル(Cタイプ)から移行する場合にご提供するハードウェア機構で、PRIMEQUEST 1400Sにのみ適用可能です。

本オプションを適用することで、オープンシステム用のディスク装置である「ETERNUS DX80」を、PRIMEQUEST 1400S上のOSIV/XSPシステムから、グローバルサーバの内蔵磁気ディスク装置に相当する使い方ができます。ETERNUS DX80は、PRIMEQUEST 1400Sと同一のラックに搭載でき、省電力・省スペース化を図ることができます。

AROMA-Lite(アロマ ライト)

AROMA-Liteの導入により、グローバルサーバで標準的にサポートしている、I/O装置および空調などお客様設備の自動運転・電源制御・監視操作をPRIMEQUEST上のOSIV/XSPシステムでも行うことができます。

多くのグローバルサーバのお客様で利用されている専用装置もサポートしています。

- ・通信制御処理装置 INP2
- ・チャンネルリンク装置 SCL4
- ・ディスプレイ装置
- ・テープ装置
- ・プリンタ装置

PRIMEQUESTのサーバ管理専用ユニットを活用し、各種コンソールを統合することもできます。

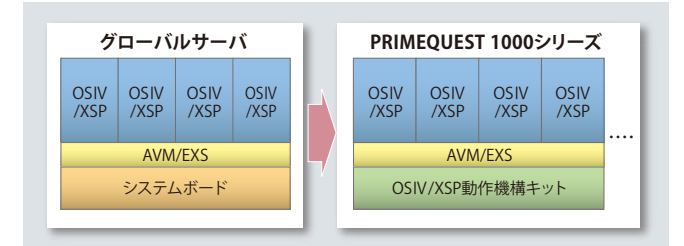
サーバ管理専用ユニット MMB

PRIMEQUESTに標準で内蔵される、ハードウェアの構成管理や障害監視などを行うユニットです。

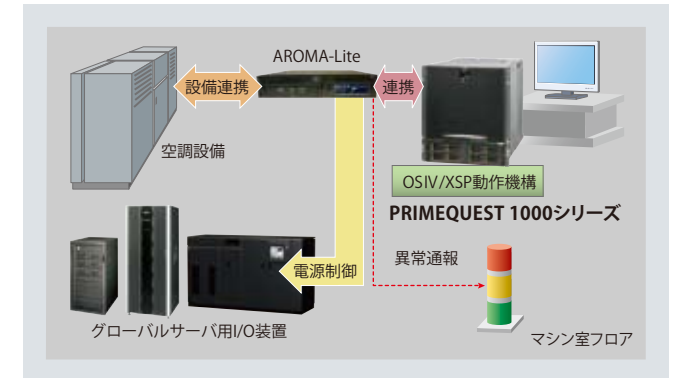
同ユニットに管理LAN経由で接続したPCで、オープンパーティションはもちろんのこと、XSPパーティション(OSIV/XSP動作機構を含むハードウェア、OS)*も管理・監視できます。

*: ソフトウェア (WSMGR V7.1以降、通信制御サービス V7.1以降) のインストールが必要です。

●AVM/EXSを適用したグローバルサーバからの移行



●AROMA-LiteによるI/O装置、お客様設備との連携



●PCによるコンソール統合

